

福島工業株式会社

証券コード:6420

FINE!

株主・投資家の皆さまへ

第66期 期末報告書

2016年4月1日～2017年3月31日

Fukushima 

フレッシュ・バリューをあなたとともに

トップメッセージ

企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第66期（平成29年3月期）の事業活動の概況を、ご報告申し上げます。

株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 福島 裕

—6期連続最高益更新—

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られ回復基調が続くものの、中国を始めとするアジア新興国経済の減速や米国新政権での政策に対する不確実性などの懸念から、先行き不透明な状況となりました。

当企業集団を取り巻く環境においては、流通産業では、根強い節約志向が続き苦戦しておりましたが、外食産業では、居酒屋業態の売上が前年を下回るもののファーストフードやレストラン業態が牽引し、外食産業全体としては前年を上回る結果となりました。

そのような経済環境の中、冷凍冷蔵庫販売では、ユーザーへの提案強化や顧客ニーズに合った製品開発に注力したことにより汎用業務用冷凍冷蔵庫の売上が増加いたしました。また、ラインナップが充実した製氷機の売上が増加したことや、レストラン向けである小規模なベーカリーシステムの導入でドウコンディショナーの売上が増加したことにより前年比104.3%となりました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、建築

コストの高騰からスーパーの新規出店が控えられたものの、コンビニ業界の再編による改装案件が増加しコンビニ向けショーケースの売上が増加したことにより104.4%となりました。

また、大型パネル冷蔵庫販売では、食品加工工場への販売が増加したことや、人手不足による業務の集約化や合理化への投資が進み、大型冷蔵倉庫・スーパーのプロセスセンターなどの物件が増加したことにより146.1%となりました。

以上から、当連結会計年度の売上高は前年同期比9.0%の増収、営業利益は前年同期比10.7%の増益、経常利益は前年同期比13.7%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比20.7%の増益となり、6期連続で最高益を更新することができました。

一次期の見通し—

当社は、昨年12月に65周年を迎えることができました。これもひとえにお客様をはじめ、株主様や関係各位の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

次年度は、米国の政策動向や中国・

アジア経済の減速懸念など不透明な状況が続くものと思われ、競争の激化や深刻な人手不足から必要な投資に絞る傾向が続くものと思われます。一方、物流倉庫や食品工場などでは、業務の集約化や合理化への投資が見込まれるものと思われます。

当企業集団においては、グループの強みを活かした総合提案営業を強化し、他社との差別化を図り、シェア拡大及び収益力の向上を目指してまいります。さらに、海外においてはタイ工場及び北京工場での製造・販売を一層強化するとともに、現地パートナー企業を増やし販売力及び工事施工力を強化してまいります。

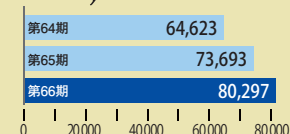
今後も当社の技術力を更に発展させ、冷凍冷蔵庫や冷凍冷蔵ショーケースといった製品を販売するだけでなく、メンテナンスやサービスも含め当社製品を使用してくださるお客様や生活者の皆様へ安心と安全を届けていくことで、社会に貢献できる企業となれるよう、グループ一丸となって精進してまいります。

株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第66期連結決算（単位：百万円）

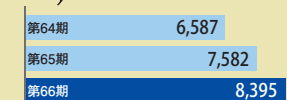
売上高

80,297 前年同期比 9.0%増



営業利益

8,395 前年同期比 10.7%増



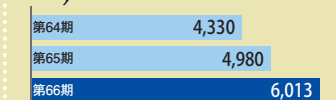
経常利益

8,730 前年同期比 13.7%増



親会社株主に帰属する当期純利益

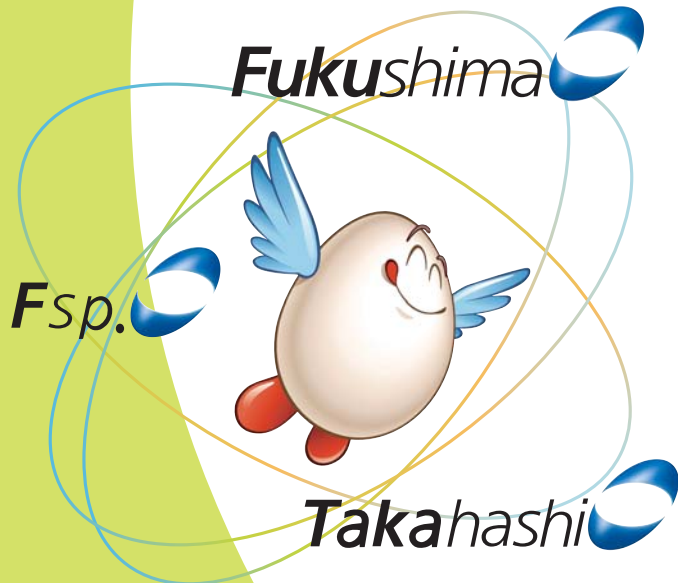
6,013 前年同期比 20.7%増



特集 1

冷凍パン生地生産能力:900kg/時×3ライン。

昭和産業鹿島第二工場の新設を オールフクシマで幅広くサポート。



食品工場の冷凍・冷却装置「トンネルフリーザー®」の製造販売を行う高橋工業、食品加工室のパネルシステムを提供するFSP、冷凍冷蔵設備工事を施工する福島工業が三社で昭和産業鹿島第二工場の新築工事を受注。フクシマのグループ力を発揮することで、お客様の幅広いご要望にお応えすることができました。今後もフクシマでは、グループシナジーを生かし社会に貢献してまいります。



昭和産業鹿島第二工場 概要

工場の運営は、昭和産業様の子会社であるグランソールベーカリー様が担当。冷凍パン生地及び菓子類を提供する生産拠点であり、既存の千葉県内のパン工場と連携し、一貫して製品を供給できる体制を整える目的で建設されました。

冷凍・冷蔵設備は、すべてフクシマグループで実現。

Takahashi

高橋工業受注内容

2015年秋、受注決定。施工内容は、ベルト幅860Wの11段スパイラルフリーザー3基、クーリングタワー300トンなど。さらに設置工事と配管、防熱、電気工一式で、約1.5ヶ月の工事でした。



Fsp.

FSP受注内容

2015年冬、受注決定。耐火パネル2500㎡、ウレタンパネル12500㎡を使用し、天井高20m、幅50mの製品冷凍庫を施工しました。天井パネルと壁パネルで断熱の厚みが違う仕様となっています。



Fukushima

福島工業受注内容

2016年春、受注決定。1階2階の冷凍冷蔵庫合わせて大小19系統の冷凍冷蔵設備工事を担当。大規模な製品冷凍庫のため冷気の循環やメンテナンス性を考慮しました。さらに温度管理システムの「F's eye」も導入し、ハードだけでなくソフト面でもサポートすることができました。



F's Eye
エフズアイ

担当者ボイス

福島工業株式会社 エンジニアリング事業部 東日本事業部 課長 篠田 亮

昭和産業鹿島第二工場様の冷凍冷蔵設備工事は、1階2階合わせ大小19系統の冷凍冷蔵設備工事でした。

特徴的なのは高さ20m幅50mもある-25℃の自動製品倉庫で、室内機には床置き冷却器のダクト方式を採用し室外機は福島工業としてはまだ取扱いが少なかった神戸製鋼製のスクリュウ冷凍機を採用し、この大型倉庫全体の冷却を可能にしました。

福島工業による冷凍冷蔵設備工事・FSPによる断熱

パネル・高橋工業によるスパイラルフリーザー。また、福島工業の業務用冷蔵庫・温度監視システムと各商流は違いますが、本工場は福島グループにしかできない大きなシナジー効果が実現できた物件です。

竣工後はメンテナンス関係を中心にお客様より相談を頂ける非常にいい関係を保てており、フクシマグループに任せておけば安心という印象を持って頂けるフクシマブランドを実現できた物件となりました。

特集②

スーパーマーケットからレストランまで幅広く活躍。

省エネ、省スペース、衛生的。 進化し続けるフクシマの製氷機。

フクシマでは、氷の形やサイズ、製氷量など、様々なタイプの製氷機を販売しております。どの機種も節水に配慮した省エネ設計で、ランニングコストを抑えることが可能です。また、省スペース設計で、コンパクトに設置することができます。外装パネルには、汚れを拭き取りやすいクリアコーティング加工を採用し、扉パッキンには防カビ剤・抗菌剤を配合しているため衛生的です。今後も、さらに一歩進んだ製品開発に努力してまいります。

■チップアイス

扇型の断面の小さな氷。飲み物や料理を素早く冷却します。



FIC-A100CT

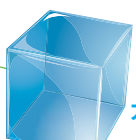


FIC-A100CTL

レストランに!
スーパーに!

■キューブアイス

透明度の高い立方体の氷。飲料用、保冷用など幅広く使用可能。



バーチカルタイプ
FIC-A240KV1S

カフェに!
居酒屋に!



アンダー
カウンタータイプ
FIC-A25KT

多彩な
ラインナップで
市場を獲得



FIC-A120FT



FIC-A120FTL



デパートに!
カフェに!

■フ레이크アイス

不定形の小さな粒状の氷。鮮度保持用のアイスなどに使用。

■ハーフキューブアイス

キューブアイスより一回り小さい氷。飲料用、保冷用などに使用。



スタックオンタイプ
FIC-A240HLST

レストランに!
カフェに!

バーチカルタイプ
FIC-A240HVS



特集③

業務にメリハリをつけ、働き方改革を目指す。

東京都実業団3部リーグより参戦、 フクシマの実業団女子テニス部が発足。

2017年4月より、フクシマの実業団女子テニス部が発足しました。テニスは競技人口も多く、老若男女問わず、一緒にプレーを楽しむことができるスポーツです。しかし身近なスポーツであるにも拘わらず、成人女子テニス界はキャリアデザインが難しく、その環境改善に貢献するため今回の発足に至りました。今後は、業務にメリハリをつけた働き方や、働き方改革のフラッグシップとしての活動を目指します。



東京実業団春リーグ (3部リーグBグループ)

試合日程及び結果

<第一戦 対 第一三株式会社>
日程:平成29年4月2日(日)
戦績:3-0 勝利

<第二戦 対 丸紅株式会社>
日程:平成29年4月9日(日)
戦績:3-0 勝利

<第三戦 対 三菱商事株式会社>
日程:平成29年4月22日(土)
戦績:3-0 勝利

<第四戦 対 東芝本社>
日程:平成29年4月23日(日)
戦績:3-0 勝利

<第五戦 対 三井住友トラストグループ>
日程:平成29年4月30日(日)
戦績:3-0 勝利

初参戦で大健闘。
今後の活躍にも
ご期待ください!

第91回関東オープン

清水千夏 シングルス優勝!



トピックス~NEWS~

デザート用ラウンド型ショーケースの 省エネ性能が評価され賞を獲得!

DCインバータスクロール圧縮機採用と
排水蒸発装置の効率化によるヒーターレスで、大幅な省エネを実現。
その優れた省エネ性能が認められ、
『優秀省エネルギー機器 日本機械工業連合会会長賞』を受賞しました。



RMC-42GUPA3S

新製品

シビアな温度管理が可能 スリム型 薬用保冷库を発売

高精度モードの追加により、3℃、4℃、5℃のシビアな
温度管理が可能に。また、設定温度は従来の2〜14℃から
2〜25℃に範囲を拡大。一定した常温保管において
温度管理が必要な薬品庫としても使用できます。



FMS-174GS

新製品

幅広い温度設定ができる 平型オープンショーケース

−25℃〜15℃の幅広い温度設定が可能。また、
インバータ圧縮機搭載により、大幅に省エネ
を実現。断熱ナイトシート付きで、夜間閉店後は
商品の上にかぶせると省エネになります。キャス
ター付きで、移動も簡単です。



MRN-42QWBS

新製品

大容量なのに省エネ 薬用冷凍冷蔵庫 大容量タイプが登場

冷蔵室481L・冷凍室176Lの大容量タイプが
新登場。新型マイコン採用で運転の最適化を
図り、精度と省エネの両立を実現。また、個体
別の鍵を標準装備し、1本の鍵で他の保冷库
を開けられないよう
セキュリティも強
化しました。



FMS-F404G

展示会

第51回 スーパーマーケットトレードショー 2017に出展しました。

2017年2月15日(水)〜17日(金)幕張メッセ

「スーパーマーケットトレードショー」は、スーパーマーケットを中心とする
食品流通業界に最新情報を発信する商談展示会。
フクシマでは、最新のショーケースをはじめ、フルーツカットの実演や
スチコン+プラストを活用した総菜のご試食など、
店舗と厨房の一体感を感じられるよう展示。
ブースには大勢の方にお越しいただきました。



展示会

第17回 厨房設備機器展2017に 出展しました。

2017年2月21日(火)〜24日(金)東京ビッグサイト

業務用厨房やフードサービス向けの最新機器、
機器の設計・エンジニアリング技術のさらなる普及
と向上を図る展示会「厨房設備機器展」。フクシマ
では、ベーカリー機器や、ドリンク、大量調理などの
多彩なコーナーをご用意。HAL YAMASHITA
東京の山下シェフに登場していただき、調理実演も
行いました。



大阪市女性活躍 リーディングカンパニー認証を取得!

当社は女性にとって働きやすい職場環境の
整備に積極的に取り組んでまいりました。この
度、大阪市から女性が働きやすい企業として
最高ランクの「二つ星認証」を受けました。



交通広告リニューアル!

第54回宣伝会議賞で協賛企業賞を
受賞したフクシマのキャッチコピー
「冷やすことに、熱すぎる会社。」を
使用した広告が、JR新大阪駅、JR
御幣島駅に掲出されました。



サラヤ株式会社様と共同企画!

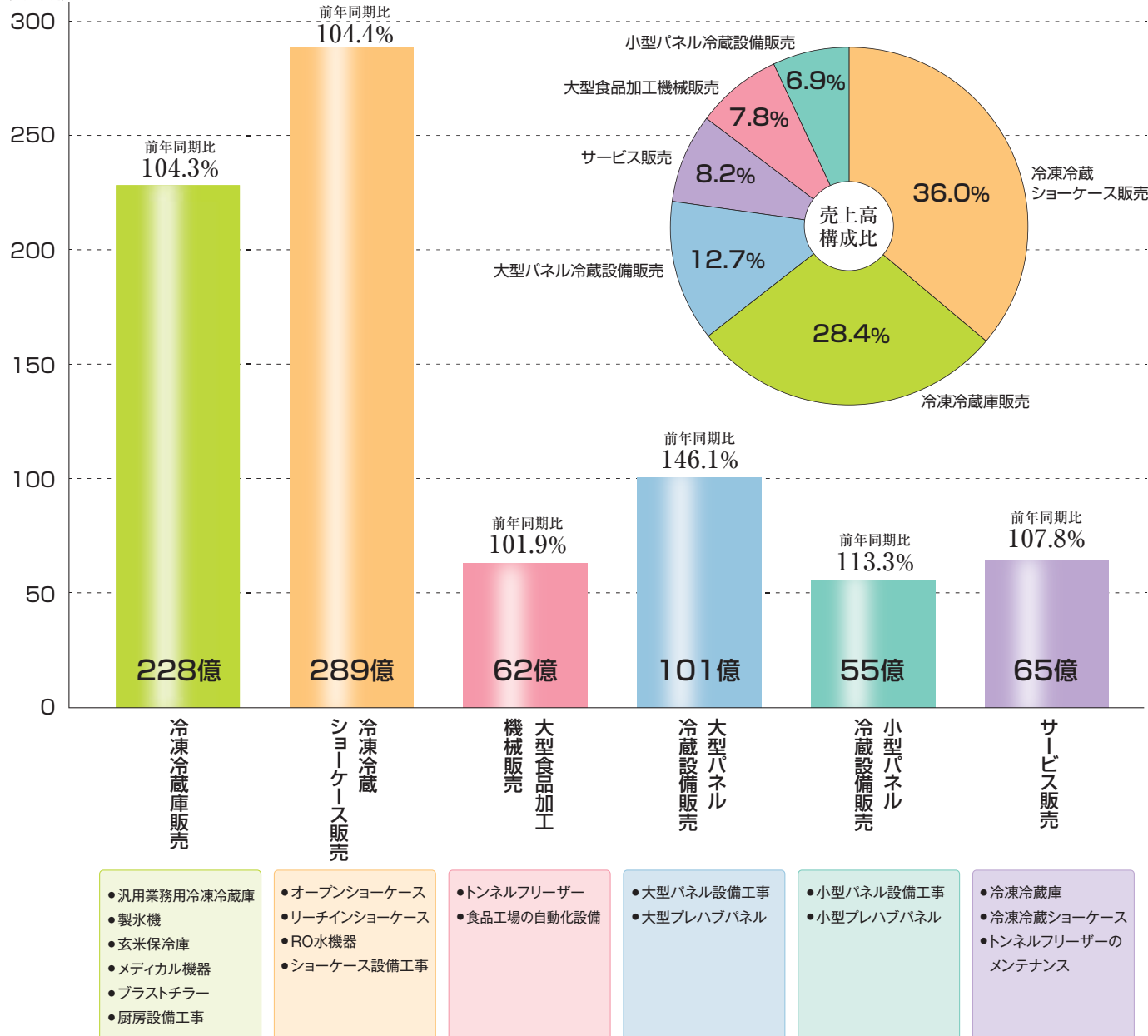
衛生環境・食品衛生のパイオニアの企業
「サラヤ」と福島工業が共同で、新しい水産
加工システムを提案することになりました。



事業別売上高



(単位: 億円)



連結財務諸表



連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	46,975,623	53,529,280
固定資産	20,360,074	20,689,230
有形固定資産	10,995,217	11,481,811
無形固定資産	191,381	220,170
投資その他の資産	9,173,474	8,987,248
資産合計	67,335,697	74,218,510
負債の部		
流動負債	28,220,622	29,409,810
固定負債	3,072,952	2,647,794
負債合計	31,293,575	32,057,605
純資産の部		
株主資本	33,565,315	38,977,203
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	3,168,379	3,168,379
利益剰余金	30,848,359	36,260,825
自己株式	△ 3,211,617	△ 3,212,194
その他の包括利益累計額	2,473,224	3,173,198
その他有価証券評価差額金	2,830,254	3,259,400
為替換算調整勘定	121,385	68,104
退職給付に係る調整累計額	△ 478,416	△ 154,306
非支配株主持分	3,582	10,503
純資産合計	36,042,121	42,160,905
負債純資産合計	67,335,697	74,218,510

↑Point.1

連結損益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売上高	73,693,046	80,297,278
売上原価	54,920,762	59,565,828
売上総利益	18,772,284	20,731,449
販売費及び一般管理費	11,190,264	12,335,754
営業利益	7,582,019	8,395,694
営業外収益	413,682	437,650
営業外費用	319,442	102,524
経常利益	7,676,259	8,730,820
特別利益	—	5,524
特別損失	110,337	—
税金等調整前当期純利益	7,565,921	8,736,344
法人税等合計	2,768,926	2,716,595
当期純利益	4,796,995	6,019,749
非支配株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失	△183,670	6,169
親会社株主に帰属する当期純利益	4,980,666	6,013,580

↑Point.2

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,241,984	6,419,729
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,663,887	△ 720,200
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 3,015,703	△ 1,087,175
現金及び 現金同等物に係る換算差額	△ 137,577	△ 83,109
現金及び 現金同等物の増減額	424,814	4,529,243
現金及び 現金同等物の期首残高	19,956,684	20,381,498
現金及び 現金同等物の期末残高	20,381,498	24,910,742

↑Point.3

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

Point.1

現金及び預金が増加したことによる流動資産の65億5千3百万円増加と、有形固定資産及び投資有価証券が増加したことによる固定資産の3億2千9百万円増加により、資産合計68億8千2百万円の増加となりました。

Point.2

食品加工工場への販売及び大型冷蔵倉庫並びにスーパーマーケットのプロセスセンターなどの物件が増加したことや、ラインナップが充実した製氷機やレストラン向けの小型ドゥコンディショナー及びコンビニ向けショーケースの売上増加などにより、前年に比べ66億4千万円の増加となりました。

Point.3

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、税金等調整前四半期純利益を87億3千6百万円計上し、主に投資活動や財務活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ45億2千9百万円増加し、249億1千万円となりました。

Information

会社概要		
商 号	福島工業株式会社	
本 社	〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11	
設 立	昭和26年12月8日	
資 本 金	27億6千万円	
従業員数	連結:1,690名 単体:1,277名（準社員除く）2017年3月現在	

ネットワーク		
支 社	東日本(東京)、中部(名古屋)、西日本(福岡)	
支 店	北海道(札幌)、東北(仙台)、関東(さいたま)、千葉、横浜、信越(新潟)、静岡(静岡)、北陸(金沢)、関西(大阪)、京都、阪和(南大阪)、神戸、岡山、広島、四国(高松)、東九州(大分)、西南九州(長崎)、沖縄	
営 業 所	旭川、函館、帯広、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、水沢、宇都宮、高崎、水戸、つくば、船橋、西東京、厚木、長野、松本、甲府、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、富山、福井、滋賀、北近畿、奈良、和歌山、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、宮崎、延岡、佐世保、熊本、鹿児島、石垣	
サービスセンター	関東(西船橋)、関西(大阪)	
工 場	滋賀(水口)、岡山	
グループ会社	国内:高橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、FSP株式会社、株式会社省研 海外:香港、台湾、シンガポール、韓国、上海、マレーシア、北京、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、カンボジア、ミャンマー 海外工場:北京合弁工場、タイ工場	

役員			
代表取締役社長	福島 裕	取 締 役	藤川 隆夫
取締役副社長	福島 亮	取 締 役	吉年 慶一
専 務 取 締 役	福島 豪	監 査 役	竹内 博史
常 務 取 締 役	片山 充	監 査 役	濱 政夫
常 務 取 締 役	長尾 健二	監 査 役	西井 弘明
取 締 役	水谷 浩三		
取 締 役	日野 達雄		

株式のご案内	
決 算 日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
公 告 掲 載 方 法	当社の公告はホームページ http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031

最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。
福島工業のホームページを、ぜひご覧ください！
<http://www.fukusima.co.jp/>

